

賀儀城・床浦神社

床浦神社は、海に面した大きな鳥居で有名です。物理的にも歴史的にも海とつながっています。

神社は、強力な小早川武家の海軍司令官である乃美宗勝としても知られる浦宗勝（1526–1592）によって建てられました。浦宗勝が賀儀城の近くに建設し、現在の場所に移されました。海辺の海軍城は瀬戸内海を見下ろす 20 メートルの丘の上に建てられました。城への接近を常に監視できるように、四方を一望できる戦略的なロケーションに選ばれました。床浦神社の丘の上にある勝運寺も、瀬戸内海からの攻撃の可能性に対する城の防御の一部として機能しました。

床浦神社の鳥居は、現在の海岸に移される前はその海上にありました。現在、賀儀城跡は公園の一部となっています。床浦神社では、毎年 4 月にお祭りが開催されます。